郷土高崎の魅力

ほっとTタイム

撮影場所：上毛野(かみつけの)はにわの里公園（後ろの古墳は八幡塚古墳）

市民と市長が高崎のさまざまなテーマで語り合う「ほっとTタイム」。今回のお相手は、かみつけの里博物館（井出町）が開催する「かみつけ塾」に参加し、地域の歴史や文化を学んでいる井上俊彦さんと井田秀子さんです。郷土高崎の持つ魅力について伺いました。

井上 俊彦 さん

特に興味があるのは古代～中世の歴史。菊地町在住。

定年を期に、理工系から文科系に興味が変わりました ――井上さん

市長　お二人が参加しているかみつけの里博物館の歴史講座「かみつけ塾」は、大変な人気らしいですね？

井上　2年ほど前から受講していますが、会場はいつも満席です。いろいろなテーマで講座が開かれるので、参加するたびに新しい発見があります。

井田　毎月1回の講座で、気軽に参加できるのもいいですよね。参加しているのはほとんど中高年の人ですが、皆さん本当に歴史に詳しくて、積極的です。

市長　退職したり、子育てが一段落したりして、新しい事を始めるのにちょうどいい年齢なのでしょうね。そういう人たちのエネルギーはすごいですからね。受講したきっかけは何だったのですか？

井上　子どものころから写真が好きで、カメラ関係の会社でレンズの設計など技術者として働いていました。それまで理工系の勉強ばかりしていたので、リタイア後は今までと生活を変えたいという思いがありました。

市長　もう退職されたんですか？

井上　2年ほど前に退職しました。ちょうど同じ時期に実家で先祖について書かれた「過去帳」が見つかったんです。そこから先祖について調べるうちに、歴史を学ぶ楽しさに夢中になっていきました。

市長　理工系が、がぜん文科系に目覚めたというわけですか。なるほど、よく分かります。井田さんはいかがですか？

井田　うちは下滝町で農家をやっています。歴史には興味がありましたが、家のことが忙しくて…。市の広報でかみつけ塾のことを知って、これなら時間を見つけて行けるかなと思って受講したのがきっかけです。

市長　歴史や文学などはもともと好きだったんですか？

井上　本を読むことは好きですが、郷土の歴史などにはほとんど関心がありませんでした。

井田　歴史小説やNHKの大河ドラマを見るくらいでしたね。

市長　歴史と縁のない時期から転機を迎えたのですね。私も歴史物が好きになったのは50代後半からです。

歴史上の有名な人物が身近に感じられるのが楽しい ――井田さん

市長　2年以上学んできた中で、特に関心のある分野などは見つかりましたか？

井田　私は人物史が好きです。史跡を訪れて、その時代に生きた人たちの気持ちを思うと、感じ入るものがありますね。箕輪城の長野氏とか。

井上　長野氏といえば、家臣に上泉信綱(かみいずみのぶつな)という剣術の達人がいたんです。多くの剣豪を生んだことで有名な柳生一族に「新陰流」を伝えたり、剣道の竹刀を発明したりしたすごい人物なのですが、ほとんど知られていない。高崎市民としてすごく悔しいですし、もったいないと思います。

市長　学校では地域の歴史までは細かく教えてくれないですからね。来年11月に高崎についての知識を問う「高崎学検定」を開催するのですが、合格した人には「高崎学博士」として教える側に回って活躍してもらいたいと考えているんです。

井田　それはいいですね。身近なところにそういう人がいれば、もっと歴史に親しみやすくなります。夫が下滝の獅子舞保存会に入っているのですが、こういう郷土の伝統行事を語り継いでいく必要もありますね。

市長　景観や文化は一度なくなってしまうと元に戻せないですからね。自分で勉強して、地域の中の価値がある物を見つけて残していかないと。自分の住む地域を誇りに思うのは大切なことです。

井田 秀子 さん

バスツアーで史跡を巡るのが楽しみ。下滝町在住。

「高崎学検定」をとおして地域の歴史の価値を知ってほしい ――富岡市長

井上　先ほど井田さんが話していたように、歴史関係の講座に参加するのは圧倒的に中高年なんです。もっと若い人に参加してもらえるような方法はないかと思っています。

市長　「勉強するのは嫌だ」というアレルギーみたいな感覚があるんだと思いますね。でも実際に勉強してみると見方が変わることもあります。若い人が「学びたい」と思ったときに、それを受け入れる場所をつくることが大事ですね。

井田　学校で習うのと、自分から学びに行くのはだいぶ違いますから。

井上　先日、シティギャラリーで私も参加している「群馬石仏の会」の写真展を開催しました。そこで東京から見学に来ていたご夫婦が「退職後はぜひ高崎に移住したい」と話していたんですね。

市長　それはどんな理由からなのでしょう？

井上　高崎の人はとても親切で、外から来た人を温かく迎えてくれること、そして群馬交響楽団や美術館などの文化施設も多く、知的レベルが高いことなどです。そう言ってもらえたのが、本当にうれしかったです。

市長　それはありがたいことですね。いい話を聞かせてもらいました。実際に住んでいる人はなかなか気付けないのかもしれませんが、自分の住んでいる地域の良さに気付いてもらいたいですね。「高崎学検定」も地域の歴史の価値や魅力に目を向けるきっかけになればと思います。

井田　自分から積極的に勉強をしようという人は、自分の知識がどれくらいか試したいと思うのではないでしょうか。腕試しとして、思いっきり難しい検定がいいですよね。

井上　私もぜひ受けてみたいと思います。

市長　これからも積極的に高崎の歴史や文化を学んで、その魅力を広げていってくだされればと思います。本日はありがとうございました。

井上・井田　ありがとうございました。

富岡 賢治 市長

街中をくまなく散歩している。「新しい発見」が楽しみ。

高崎学検定入門編（2P）の答え

■ **問1…ウ**
ア）はイタリア、イ）は東京都、エ）は枝豆です。

■ **問2…ウ**
多賀城碑は宮城県多賀城市にあり、多胡碑、那須国造碑(なすのくにのみやつこのひ)と共に日本三古碑の一つに数えられています。

■ **問3…イ**
小栗上野介は、横須賀製鉄所の設立など日本の近代化に多くの業績を残しました。